

一般科目（品川キャンパス） 教授 伊藤 邦彦

[1] 研究論文

「鎌倉幕府守護管国統治機構について」、『東京都立産業技術高等専門学校研究紀要』第3号，
2009年3月

一般科目（品川キャンパス） 教授 樺山 弘盛

[1] 研究論文

樺山弘盛：「ウィリアム・フォークナーの「エミリーへのバラ」をめぐって」、『英米文学への誘い』，鏡味国彦，齊藤昇編著，文化書房博文社，pp. 441-455，2008

[3] 記事

- 1) 樺山弘盛：「文化交流の波」，『国際異文化学会会報』9号，巻頭言，2008
- 2) 樺山弘盛：「時事放談」，『異文化研究5』，文化書房博文社，pp. 7-8，2008

[6] 一般学会活動

国際異文化学会会長（会員65名、2009年3月現在）

一般科目（品川キャンパス） 教授 川崎 正美

[1] 研究論文

「シェイクスピアの色彩」

一般科目（品川キャンパス） 教授 杉田 美登

[6] 論文

- 1) 『俳諧玉言集』秋の部下，翻刻』，東京都立産業技術高等専門学校研究紀要第3号
- 2) 『妙高山 雲上寺 宝蔵院日記』第1巻 妙高市教育委員会編集 平成20年10月刊行
- 3) 『俳諧言玉集』春之部 翻刻 学術文献刊行会 2008年5月刊行

一般科目（品川キャンパス） 教授 高野 光男

[1] 研究論文

- 1) 高野光男：「文学教育を捜して」，日本文学，第58巻第1号，pp28-34，2009.1
- 2) 高野光男：「物語化に抗して—村上春樹「七番目の男」の語り」，国文学解釈と鑑賞，第7巻第7号，pp156-162，2008.7

[2] 学会講演・研究発表

高野光男：「文学教育のアクチュアリティ—村上春樹「アイロンのある風景」を読む」，早稲田大学国語教育学会第238回例会，2008.12

[3] 解説・寄書・記事・研究ノート

高野光男：「ショウアンドテルとは」，学校マネジメント，No619，pp60，2008.6

[4] 編・著・訳書等

野元菊雄，高野光男他：『高校漢字の総練習 三訂版』，三省堂，全168ページ，2009.3

[6] 一般学会活動

- 1) 日本文学協会（委員）
- 2) 早稲田大学国語教育学会（委員）

一般科目（品川キャンパス） 教授 深野 あづさ

[1] 研究論文

S.Aoki and A.Fukano : Approximate Calculation Method for Integral of Mean Square Value of Nonstationary Response of Secondary System, Information, 12-1, pp.65-70, 2009-1

[2] 学会講演・研究発表

- 1) 青木 繁，深野あづさ：非定常不規則振動応答の自乗平均値の積分値の近似計算法（地盤の振動特性を考慮した場合），第27回数理科学講演会講演論文集，pp.77-78，2008-9
- 2) 青木 繁，深野あづさ：非定常不規則振動応答の自乗平均値の積分値の簡易計算法（付加構造物系の応答に対する計算法），日本機械学会Dynamics and Design Conference 2008講演論文集，08-14，p.190(CD-ROM 402)，2008-9
- 3) 青木繁，深野あづさ：非定常不規則振動応答の自乗平均値の積分値の簡易計算法（異なる包絡関数による検討），日本機械学会関東支部ブロック合同講演会-2008おやま-講演論文集，pp.247-248，2008-9
- 4) 青木繁，深野あづさ：地震応答の自乗平均値の積分値の近似計算法，日本地震工学会大会-2008梗概集，pp.104-105，2008-11

5) 深野あづさ, 畑山明聖, 負イオン源における壁近傍でのポテンシャル, プラズマ・核融合学会第25回年会講演予稿集 (オンライン予稿集), 3aB11P, 2008-12

[8] 国際学会・国際会議等

A. Fukano and A. Hatayama : Electric Potential in a Magnetized Plasma with Magnetic Field Increasing toward a Wall, International Congress on Plasma Physics 2008, p.213, 2008-9

[9] 文部省科学研究費補助金に関わる活動

深野あづさ: 基盤研究 (C) : イオン源カusp磁場におけるプラズマ損失の理論及びシミュレーション (平成19年度から20年度)

一般科目 (品川キャンパス) 教授 保福 一郎

[1] 研究論文

Ichiro Hofuku, Kunio Oshima, A Controlled Absolute Ranking Method Applied to an Exam of Multiplex Choice Form, International Journal of Pure and Applied Mathematics, Vol.47, No.2, pp.267-280, 2008.

[2] 学会講演・研究発表

- 1) 保福一郎, 横井 健, 大島邦夫, 新たなる数理手法を用いた情報検索モデルの提案, 日本応用数理学会2008年度年会予稿集, Vol.19, No.1, pp.69-70, 2008.
- 2) 横井 健, 保福一郎, 柳本 豪一, ANPを用いた索引語ランキング手法の提案, 第7回情報科学技術フォーラム (FIT), 講演論文集 第2分冊, pp.215-216, 2008.

一般科目 (品川キャンパス) 教授 山内 一郎

[2] 学会講演・研究発表

- 1) 山内一郎: 第1回シグマグループミーティング, Low-Mass extra mesons, 平成20年6月21日
- 2) 山内一郎: 第2回シグマグループミーティング, ω (1250), ρ (1250)の存在について, 平成20年9月17日
- 3) 山内一郎: 第3回シグマグループミーティング, ω (1250), ρ (1250)の存在に関する解析と論文内容について, 平成20年10月18日
- 4) 山内一郎: 第4回シグマグループミーティング, Low-Mass vector mesonの存在に関する再解析論文, 平成20年12月13日
- 5) 山内一郎: シグマグループ夏季セミナー, Low Mass Vectors--解析, 平成20年8月22日

- [9] 文部省科学研究費補助金に関わる活動
拠点大学交流事業 (JR-00-B4) 研究員
-

一般科目 (品川キャンパス) 准教授 篠原 知子

[1] 研究論文

- 1) Kazuaki Nakane, Tomoko Shinohara: Existence of periodic solutions for a free boundary problem of hyperbolic type, *Journal of Hyperbolic Differential Equations*, vol.5, No4, pp.785-806, 2008
- 2) Tomoko Shinohara: Existence of invariant manifolds at an indeterminate point, 京都大学数理解析研究所講究録1586, pp. 109-117, 2008

[2] 学会講演・研究発表

- 1) 篠原知子: 多変数有理写像の不定集合における力学系構造, 2008年冬の力学系研究集会
 - 2) 中根和昭, 篠原知子: 1次元双曲型自由境界問題I (変分法を用いた数理モデルの構成), 2009年日本数学会年会
 - 3) 中根和昭, 篠原知子: 1次元双曲型自由境界問題II (周期解の構成, 適切性, 漸近挙動), 2009年日本数学会年会
-

一般科目 (品川キャンパス) 准教授 田村 健治

[1] 研究論文

田村健治: 産官学連携を基盤とする安定化次亜塩素酸水製造装置の開発と応用, 全国水道研究発表会論文集, 59, pp. 234-235, 2008.

[2] 学会講演・研究発表

- 1) 田村健治, 荻野仁: イオン半導体を基盤とした各種環境適合型装置の開発と応用, 第17回環境化学討論会, P228, pp. 802-803, 2008.
- 2) 田村健治, 邊見秀孝, 中川隆一, 中村裕二: 産官学連携を基盤とした安定化次亜塩素酸水製造装置の開発と応用, 第17回環境化学討論会, P229, pp. 804-805, 2008.
- 3) 田村健治, 小島裕司・中村裕二: 産官学連携を基盤とした新規固形バイオ製剤の開発と応用, 第17回環境化学討論会, P230, pp. 806-807, 2008.
- 4) 田村健治, 昆勝男, 村松弘恵, 松浦豊: 環境適合型新規自動炭化装置の開発, 第17回エネルギー学会大会, 7-4, pp. 302-303, 2008.

- 5) 田村健治, 邊見秀孝, 中川隆一: 安定化次亜塩素酸水の強力な殺菌・消臭効果を基盤とする食品加工工程における衛生管理方法の構築, 日本食品科学工学会第55回大会, 3Ga7, pp. 117, 2008.
 - 6) 田村健治: 生涯教育・社会教育・導入教育を指向した多形式な化学実験教材の開発と実践, 日本理科教育学会第58回全国大会, P-20, pp. 400, 2008.
 - 7) 田村健治, 荻野仁: イオン半導体および関連技術由来の抗酸化作用を基盤とする新規食用油劣化防止システムの開発と応用, 日本油化学会第47回年会, P-040, pp. 274, 2008.
 - 8) 田村健治, 荻野仁: 次世代型電池主流化までの環境負荷低減を指向した従来型電池に対する改善技術の開発, 第49回電池討論会, 3D15, pp. 248, 2008.
 - 9) 田村健治, 荻野仁: イオン半導体および関連技術のエネルギー分野への応用, 第39回中部化学関係学協会支部連合秋季大会, 1W08, pp. 106, 2008.
 - 10) 田村健治, 昆勝男, 村松弘恵, 松浦豊: 環境適合型新規自動炭化装置の開発と応用, 第39回中部化学関係学協会支部連合秋季大会, 1W09, pp. 107, 2008.
 - 11) 田村健治, 荻野仁: イオン半導体関連技術による二次電池の再生とエネルギーの有効活用に関する研究, 化学工学会第74年会, 0205, 2009.
 - 12) 田村健治, 昆勝男, 村松弘恵, 松浦豊: 環境適合型新規自動炭化装置の開発, 化学工学会第74年会, 0208, 2009.
 - 13) 田村健治: 高等専門学校における産学あるいは産官学連携を基盤とする新規ビジネスモデルの構築と工学的実践教育への還元, 電気化学会第76回大会, 1C18, 2009.
 - 14) 田村健治, 荻野仁: 夜間電力あるいは再生可能エネルギーに対するイオン半導体を基盤とする環境適合型蓄電システムの構築, 電気化学会第76回大会, 3F11, 2009.
- [3] 解説・寄書・記事・研究ノート
- 田村健治: 日本水道新聞, 4546 (5月26日), 20面, 2008.
- [6] 一般学会活動
- 1) 文部科学省科学技術週間関連行事「親子化学実験体験教室」主催
 - 2) 文部科学省科学技術週間関連行事「化学技術相談」主催
 - 3) 国立科学博物館主催事業「サイエンススクエア」分担
 - 4) 社団法人日本化学会後援事業「化学一日体験教室」主催
 - 5) 品川区ビジネスカタリスト
 - 6) 財団法人神奈川科学技術アカデミー研究者・技術者派遣事業ボランティア講師
 - 7) 品川区環境ビジネス支援事業審査会学術審査員
 - 8) 社団法人電気化学会第76回大会1Cセッション座長
- [11] 受託研究
- 田村健治: イオン半導体を基盤とする新規環境化学技術の開発と応用, 有限会社イオン化学

[1] 研究論文

- 1) 遠山恭司：日本とイタリアの産業集積比較研究－持続的発展のための経路破壊・経路創造－, 三田学会雑誌（慶應義塾大学）, 第101巻第4号, pp. 125-150, 2009
- 2) 遠山恭司：イタリア・トリノにおける自動車デザイン関連企業と産業集積－伊自動車工業会カロッツェリア部会加盟企業を中心に－, 中央大学経済研究所年報, 第39号, pp. 485-524, 2008

[2] 学会講演・研究発表

- 1) 遠山恭司：日本とイタリアの産業集積比較研究－持続的発展のための経路破壊－, 慶應義塾経済学会コンファレンス, 於：リゾートピア熱海, 2008
- 2) 遠山恭司：中国・大連から見る経済のグローバル化と中小企業の経営課題－グローバルな人材育成の観点から－, 東京中小企業家同友会大田支部21研 269回研究会 於：大田区産業振興協会, 2008
- 3) 遠山恭司：イタリア地域産業・中小企業の持続的発展モデル, 早稲田大学・日本自動車部品産業研究所, 於：早稲田大学, 2009

[4] 編・著・訳書等

- 1) 上野和彦・政策科学研究所編, 伝統産業産地の行方－伝統的工芸品の現在の未来－, 東京学芸大学出版会, 全189ページ, 2008（上野和彦, 立川和平, 宮腰佐和, 初澤敏生, 本木弘悌, 高柳長直, 竹内裕一, 遠山恭司, 山本篤民, 山本俊一郎, 青木英一, 小俣利男, 千葉勝）
- 2) 北村嘉行編, 中小工業の地理学, 三恵社, 全148ページ, 2008（北村嘉行, 上野和彦, 松田松男, 岡村光展, 金雪梅, 初澤敏生, 竹内裕一, 青木英一, 高柳長直, 和田民子, 小俣利男, 遠山恭司, 黄昕, 石田典行）

[6] 一般学会活動

遠山恭司：経済地理学会編集会議委員会委員（レフェリー）

[9] 文部省科学研究費補助金に関わる活動

遠山恭二：若手研究（B）：イタリア製造業センサスにもとづく産業地域データベース構築と地域間比較研究（課題番号：18710217）

一般科目（品川キャンパス） 准教授 永井 誠

[1] 研究論文

Toward an Interface between the Japanese Way of Thinking and the English Way of Expressing Things: A Proposal for a Teaching Material.], 東京都立産業技術高等専門学校 研究紀要第3号, 2009年3月

[8] 国際学会・国際会議等

「International Conference on English Needed by Scientists and Engineers in Today's Global Society」, 上智大学, 2009年3月6日

一般科目（品川キャンパス） 准教授 中西 泰雄

[1] 研究論文

中西泰雄:「証明図の新しい書式について」, 日本数学教育学会高専・大学部会論文誌, VOL15, N01, pp. 39-50, 2008

一般科目（品川キャンパス） 准教授 古川 浩洋

[3] 解説・寄書・記事・研究ノート

古川 浩洋:平成19年度常務理事会の議事摘要, 学体連会報, 45, p. 35, 2008

[6] 一般学会活動

古川 浩洋: (財)日本学校体育研究連合会, 常務理事